意 見 交 換 会 報 告 書（福祉保険委員会）

令和２年２月７日、８日開催　国立市議会意見交換会				
開催日時	令和２年２月７日（金）　午後７時から午後９時			
開催場所	市役所３階　会議室			
出席議員	上村　和子	望月　健一	石井　めぐみ	柏木　洋志
	髙柳　貴美代	重松　朋宏	青木　淳子	
	代　表　者	青木淳子　委員長	司　会　者	青木淳子　委員長
	報　告　者	重松朋宏	記　録　者	重松朋宏
参加人数	４名			
報告内容	【意見交換会の概要】			
	「福祉の視点で防災について考える」とし、市長とのタウンミーティングや、			
	台風１９号の行政からの報告書、市のハザードマップ等の資料を基に意見交換した。			
	【主な意見】			
	・過去の災害に遭われた聴覚しょうがい者の方達の話では、避難所で情報が聞こえず			
	孤立してしまう。アイドラゴンという手話通訳番組から情報を取れるとよい。			
	・聴覚しょうがい者は避難所でのコミュニケーションが取りにくいので、みんなで			
	集まれるような場所がほしい。			
	・情報過多になると真偽の取捨選択が難しい。情報のザッピング・整理が必要。			
	災害時に情報弱者に対してどのように対応していくかが課題である。			
	・市は災害に備えての想定が甘い。議員もアンテナが鈍いと感じる。			
	・一番良いのは、人同士の連携。地域互助が重要である。			
	・自治会に入っていないのでご近所との繋がりが薄く、災害時の対応が不安。			
	・自治会への加入が強制でないのはメリットであり、デメリットである。			
	・地震から台風など災害と言っても広がっているが、その対策が多様化している。			
	どのタイミングで避難所をオープンするのか不明。			
	・高齢者・しょうがい者・母子家庭などの災害弱者を地域でどう助けるかが重要。			
	・自主防災組織があるが防災力が弱いにではないか。			
	・ドローン隊を組織し、上空把握して行政に情報提供を行ってはどうか。			
	・病気やしょうがいを持っている方に対するサポート体制を確立しなければならない			
	と思う。			
	【意見交換会の集約】			
	・災害情報弱者・災害弱者に対しての対応を具体的にどのようにしていくかが課題			
	である。			
	・災害時における公助の役割として、情報を正確にわかりやすくスピーディーに提供			
	することが必要である。			
	・共助の役割も重要。日頃からご近所付き合いを通して繋がりを強め、いざという			
	災害時に互いに助け合えるよう、自主防災組織などを通じて訓練が大事。			

国立市議会議長　　様

令和2年3月2日　　報告者　福祉保険委員長　青木　淳子

意 見 交 換 会 報 告 書（福祉保険委員会）

令和２年２月７日、８日開催　国立市議会意見交換会				
開催日時	令和２年２月８日（土）　午後２時から午後４時			
開催場所	北市民プラザ　多目的ホール			
出席議員	望月　健一	石井　めぐみ	髙柳　貴美代	柏木　洋志
	青木　淳子			
	代　表　者	青木淳子　委員長	司　会　者	青木淳子　委員長
	報　告　者	柏木　洋志	記　録　者	望月健一
参加人数	８名			
報告内容	【意見交換会の概要】			
	「福祉の視点で防災について考える」とし、市長とのタウンミーティングや、			
	台風１９号の行政からの報告書、市のハザードマップ等の資料を元に意見交換した。			
	【主な意見】			
	・要介護者の方が自主避難所に避難する際にタクシーを利用しようとしていたが、			
	つながらず苦労されていたので対応を考えてほしい。			
	・耳が聞こえないので災害情報の入手が困難。バンダナのようなものを作成すること			
	になっていたがどうなっているのか。			
	・若者は自己責任論が強いが、高齢者・しょうがい者は支援が必要。地域で把握して			
	いないので、若い人が入りやすい自主防災組織などを考える必要がある。			
	・立川断層の近くに住んでおり、直下型地震があったら足が悪いので逃げられないの			
	ではないかと不安。			
	・国立のＨＰはかろうじて開いたが信頼性は確保できているのか心配だ。			
	・指定避難所ではなく福祉避難所に直接避難できるようにしてほしい。			
	・バリアフリーが確保されているしょうがい者スポーツセンターを避難所として			
	活用できるようにしてほしい。			
	・車いすでの移動はとても困難であり、車いすで利用できるトイレが必要だ。			
	・人工呼吸器などバッテリーが必要な方のために、電源の課題を解決してほしい。			
	・避難行動要支援者に対する行動計画がわからず不安。			
	・避難行動要支援者の名簿が誰が管理し、どのように保管されるかもわからず不安。			
	・もっと手話が普及してほしい。			
	・しょうがいに応じた、避難所での細やかな対応を望む。			
	【意見交換会の集約】			
	・しょうがい者の方など災害時の配慮が必要な方にとって、災害時には多くの困難			
	があることを想定し、対策を講じていかなくてはならない。例えば、災害情報入手や			
	避難所までの行き方。更に避難所での情報やトイレ、電源の確保など、まだまだ課題			
	があることを想定し、対策を講じていかなくてはならない。			

国立市議会議長　　様

令和2年3月2日　　報告者　福祉保険委員長　青木　淳子